ボーリング柱状図

調　　査　　名　一級河川江の川水系小原川　通常砂防工事に伴う業務委託

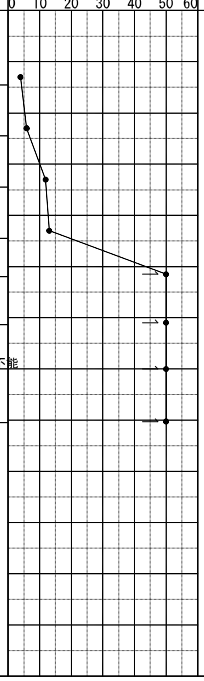
事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	7	5	2	1	0	0	2

シートNo.

ボーリング名	H28-2	調査位置	広島県安芸高田市吉田町上入江	北　緯	34° 36′ 24.9500″
発注機関	広島県西部建設事務所　工務第二課	調査期間	平成28年 7月28日～平成28年 7月30日	東　経	132° 38′ 25.9900″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	264.81m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D1-B48型	
ハンマー落下用具	半自動型		エンジン	ヤンマーディゼルNFD-12K	
ポンプ	東邦地下工機BG-3C				

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
1	263.81	1.00		礫混り砂	暗茶褐						礫混り砂。砂は細～中砂全体である。礫は最大φ=50mm程度の角礫で、泥岩主体である。少量の植物の根を含む。
2				礫質砂	褐灰茶						礫質砂。砂は細～中砂主体。角礫の礫を不規則に含む。礫は泥岩で、最大φ=50mm程度である。
3											
4	260.21	4.60									
5	259.41	5.40		泥岩	褐灰	D	Ⅳ	d	ε	1	風化した泥岩。コアは岩片状～柱状を呈す。風化により、亀裂面は茶褐色を呈す。ハンマーによる軽打で、角礫状に容易に割れる。
6	258.51	6.30						c	δ		
7	257.21	7.60			淡青灰	C	Ⅲ	b	γ		泥岩。コアは、主に短柱状～柱状を呈する。GL-6.10～6.25m間は複雑にヘアークラックが発達している。GL-7.60m以深で、低角度の層理面に沿って、部分的に茶褐色を呈す。
8	256.81	8.00						c			
9											
10											
11											
12											
13											

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
		1.15	4/30				1800		S/MC	0.5	40			
	7/29 1.90	1.45					1100							
	7/30 2.60	2.15	6/30						S/打込み	0.0	0	0.0	無水/0	0
		2.45												
		3.15	12/30				840							
		3.45												
		4.15	13/30			7/28								
		4.45					420							
		5.10	50/10				60		HW/DB	0.0	120			
		5.20					80							
		6.05	50/9				16			0.0	100	0.1	泥水/6	6
		6.14					70			0.0	160			
		7.00	貫入不能			7/29								
						7/30	150			0.5	160			
		8.00	50/5											
		8.05